

《別 紙》

1. 開催年月日 令和6年3月25日(月)開催
2. 開催場所 エフエム西東京 1階 会議室 (東京都西東京市芝久保町5-8-2)
3. 出席委員  
委員総数 6名  
出席数 4名 下川隆委員長 伊藤理香委員 小松真弓委員 山本恒安  
欠席数 2名 鈴木恒委員 賀陽智之委員

放送事業者側回答者

佐藤芳幸(代表取締役) 大塚誠(統括部長 局長) 青木崇(制作室ディレクター)

4. 議 題

「DJSaorinのとんでけ!Friday」内コーナー 特別企画「能登半島地震西東京発のお二人から」

5. 議事の概要

あらかじめ送付した番組を録音したCDを聴いていただき審議。

6. 審議内容

審議委員意見

- ・ パーソナリティーの声のトーンを番組内容に合わせていたのが大変良かった。
- ・ ゲストの話の内容で、西東京市とのつながりが分かやすく筋立てられており、話の展開、構成も分かりやすかった。
- ・ BGMも番組内容にしっかりあっていた。
- ・ 元市民と現在もつながりのある方のお話が、コミュニティエフエム放送局としてとても意義のある形だった。
- ・ パーソナリティー、ゲストとも落ち着いたのがある、話し方でとても良かった。
- ・ 震災についての情報をどれだけポジティブに発信できるかが重要だと思った。
- ・ SNSで被災者同士がつながることの必要性を感じた。
- ・ 被災地、被災者の方に何が必要で、何が不要なのか、ゲストのお話で理解でき、またそのことを多く発信すべきだと思います。
- ・ ゲストお二人のお話しは大変内容の濃いもので、被災地の状況がよく理解でき、自分達ができること、すべきことを認識する大変評価の高い番組だと思います。

(局の回答)

震災発生時に、現地コミュニティーエフエム局の放送、情報をネットで調べて行く中で、今回ゲストの橋本さんの存在を発見し、連絡を取り今回の番組内インタビューに繋がった。また以前より番組にも出演していただいていた小野さんが、被災地に行かれることを知り、現地での状況をリアルタイムで情報発信することができた。

今回の震災を自分自身、また弊社に置き換えて考えると、弊社が行動できなければ、地域の方々に情報が届かない、弊社の重要な役割を改めて認識させられました。また、弊社が直接的な災害を被った場合の近隣コミュニティーエフエム局との連携、繋がり

制づくりの大切さも感じました。これまでの日常の情報発信を行う中で、市や警察、消防と構築してきた関係性を更なる強固なものにし、スムーズな情報の受け渡しができるようにしていくことが重要だと思います。

コミュニティーエフエム局は災害、震災とは切り離せないものだと思います。行政からの正確な情報発信、被災後の地域情報の収集、日常、平時における防災、災害の意識付けがコミュニティーエフエム局の大きな役割と認識しております。弊社ではこれまで行ってきた、定期的な災害、防災を考える番組を行政とも協力し制作してまいります。

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

なし

8. 審議機関の答申または意見の概要の公表

自社放送 事務所への備え置き、自社HPでの掲載

9. その他の参考事項

なし